

「給食を子どもたちの近くで作って、楽しく食べてもらいたい」と思い、保育園で給食を作る仕事をしました。子どもたちが「きょうのごはんはなに？」と給食室をのぞく姿や、「これ食べれたよ。」と教えてくれる姿にとても嬉しくなります。子どもたちの姿から、食べやすい形にすることは食べられたという自信や経験ができ、もっと食べたい意欲につながると学びました。食の取り組みだけでなく、毎日の給食を工夫していくことも楽しく食べることにつながり、大切だと感じています。子どもの日々成長する姿から、たくさん学んでいる毎日です。



下田 彩乃さん

第2めいほく保育園
栄養士2年目
椋山女学園大学卒



この仕事の魅力は、子どもたちとの距離が近いことです。食事作りが気になる子や、お部屋から気分転換をしに来た子、話を聞いてもらいたい子など様々な理由でお台所へ立ち寄ってくれます。距離が近いからこそ、ひとり一人と関わり合いながら、食の面から子どもたちの成長に携わることができます。子どもの成長段階に合わせて提供する離乳食、成長を考えたおひるご飯とおやつ作りや、子どもたちのやりたい気持ちや、好奇心をくすぐる食育に日々励んでいます。それらの活動を通して、子どもたちの嬉しい、楽しい気持ちに触れられる瞬間にとてもやりがいを感じます



杉本真菜さん

やだ保育園
管理栄養士2年目
金城学院大学卒



◇お問い合わせ◇

社会福祉法人名北福祉会法人本部 名古屋市北区上飯田南町5-53

(052)910-3066